

平成 29 年度収支決算補足説明資料

◎ はじめに 平成 20 年度合併以降の社協決算の推移・・・・・・・・

下表は、社会福祉事業（法人運営事業及び介護保険事業）・公益事業（福祉センター事業）の資金収支決算内訳表（社協全体決算）の年度別推移表です。
社協の会計は、公共部門である法人運営事業〈会費・市補助金あり〉と独立採算制事業である介護保険事業〈市補助なし、民間経営と同じ〉、そして福祉センター事業部門（施設の指定管理事業）の 3 部門で構成されています。

平成 20 年の社協合併以来、金額の高低はあったが当期資金収支差額合計（当該 1 年間の単年度収入と支出の差額）は常に 1 千万以上のプラスで推移し、良好な経営状況でありました。しかし、平成 28 年度決算で初めて▲19,485 千円の大幅赤字を記録しました。（下記一覧表・・28 年度参照）

前年度（平成 27 年度）が 13,093 千円の黒字であっただけに、前年対比では▲32,578 千円減という大幅なものとなりました。

平成 29 年度の決算でも、単年度赤字が▲31,734 千円（赤字の内訳は、法人運営事業で 889 千円、介護保険事業で▲33,840 千円、福祉センター事業で 1,217 千円）となり赤字幅は更に増大しました。

資金収支決算（社協全体）の推移（平成 21 年度決算～平成 29 年度決算）

単位：円

勘定科目	29 年度	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度	24 年度
事業活動収入計(1)	840,274,527	838,377,387	841,553,810	856,341,336	850,199,028	859,123,099
事業活動支出計(2)	863,607,218	846,298,324	825,535,643	833,283,752	828,088,663	835,714,922
事業活動収支差額(3)=(1)－(2)	▲23,332,691	▲7,900,937	16,018,167	23,057,584	22,110,365	23,408,177
施設整備等収入計(4)	3,719,500	6,696,000	0	2,370,000	2,690,984	2,339,000
施設整備等支出計(5)	12,119,506	18,277,800	2,922,332	5,555,750	7,379,909	3,308,995
施設設備収支差額(6)=(4)－(5)	▲8,400,006	▲11,581,800	▲2,922,332	▲3,185,750	▲4,688,925	▲969,995
その他の活動収入計(7)	1,804,821	1,554,001	726,431	5,700,698	0	0
その他の活動支出計(8)	1,805,565	1,555,845	728,390	5,752,660	1,994	1,002,324
その他活動収支差額(9)=(7)－(8)	▲744	▲1,544	▲1,959	▲51,962	▲1,994	▲1,002,324
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	▲31,733,441	▲19,484,581	13,093,876	19,819,872	17,419,446	21,435,858
前期末支払資金残高 (11)	270,805,874	290,290,455	277,196,579	257,376,707	239,957,261	218,521,403
当期末支払資金残高(10)+(11)	239,072,433	270,805,874	290,290,455	277,196,579	257,736,707	239,957,261

(平成 21 年度決算～平成 29 年度決算) 単位：円

勘定科目	23 年度	22 年度	21 年度
事業活動収入計(1)	841,631,318	847,550,066	809,887,746
事業活動支出計(2)	805,572,472	792,446,097	747,399,969
事業活動収支差額(3)=(1)－(2)	36,058,849	55,103,969	62,487,777
施設整備等収入計(4)	1,036,856	0	2,240,000
施設整備等支出計(5)	1,701,000	2,056,245	4,802,134
施設設備収支差額(6)=(4)－(5)	▲664,144	▲2,056,245	▲2,562,134
その他の活動収入計(7)	0	0	24,764,429
その他の活動支出計(8)	4,399	204,357	25,077,653
その他の活動収支差額(9)=(7)－(8)	▲4,399	▲204,357	▲313,224
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	35,390,303	52,843,367	59,612,419
前期末支払資金残高 (11)	183,131,100	130,287,733	70,675,314
当期末支払資金残高(10)+(11)	218,521,403	183,131,100	130,287,733

◎ 法人運営部門（公共部門）と介護保険事業部門（事業経営部門）では、歳入原資に大きな違いがあります。

(1) 公共部門である法人運営事業拠点区分収支決算 の推移

下の表は、平成 24 年度から平成 29 年度決算までの年度別「法人運営事業拠点区分」の決算収支の概要を抜粋したものです。

公共部門であり歳入原資は①会費、②寄附金、③経常経費補助（村上市）④共同募金配分金、⑤受託金（県社協・市）収入が主たるものです。

当期資金収支差額がプラスであったのは平成 23 年度の 3,687 千円を最後に平成 24 年度から平成 27 年度まで毎年赤字となっておりました。赤字の要因として①会費収入の減少や、②共同募金収入の減少、③行政改革による経常経費補助規制による補助金据え置きの影響が大きかったところ。止む無く、前期末支払資金残高（いわゆる繰越金）からの補てんや、経費節減で対応してきたところです。

平成 28 年度決算では 5 年ぶりに当期資金収支差額を **＋350 千円** としたところです。収入面で市からの経常経費補助金が補助枠上限まで認められたことで前年度比 2,805 千円増額の 80,965 千円となったこと。（平成 24 年度並みに補助額が復元された。）支出面での節減努力により総額を前年度並みに抑えた結果と考えます。

また、平成 29 年度においては、子どもの学習支援事業に係る生活困窮者自立支援事業受託、県社協からの日常生活自立支援事業受託、法人後見事業準備事業受託等々新規受託により受託金総額は増加しました。他方これに対応する支出は収入増内に納めた結果、施設整備で収支▲1,222 千円がありました。

たが、本年度も当期資金収支差額を 889 千円増に留とすることが出来ました。

法人運営事業拠点区分資金収支決算の推移

単位：千円

年度・区分		29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	
事業活動収入	会費	9,314	9,529	9,714	9,986	10,120	10,359	10,665	
	分担金				3,732	3,785	3,732	3,732	
	寄附金	675	781	1,715	543	663	1,460	790	
	経常経費 補助金	法人運営市補助	80,965	80,965	78,160	79,880	79,880	80,794	80,794
		事業活動市補助	3,540	3,540	3,540	3,841	3,634	3,645	3,667
		共同募金配分金	8,038	8,475	8,312	8,361	14,677	15,582	14,789
		県社協助成金	1,170	1,170	1,170	2,340	117		240
	受託金収入	県社協受託金	1,547	125	134	351	346	339	322
		市受託金収入	41,103	35,446	33,509	17,091	19,235	17,504	16,384
	その他	2,827	1,908	2,289	2,021	2,516	8,122	7,294	
事業活動収入合計（1）		149,179	141,939	138,543	128,146	134,973	141,537	138,677	
事業活動支出	人件費	102,251	99,987	98,966	90,228	87,618	88,622	87,211	
	事業費	26,806	26,351	25,364	26,942	28,816	28,120	25,898	
	事務費等	13,884	11,873	12,862	10,911	10,958	14,343	11,717	
	助成金支出	4,125	2,080	1,846	2,470	5,197	7,203	6,703	
	分担金支出				3,732	3,732	3,732	3,722	
	負担金支出	182	172	164	176	177	177	176	
	事業活動支出合計（2）		147,248	140,463	139,202	134,459	136,498	142,197	135,427
事業活動収支差額（3）=（1）－（2）		1,931	1,476	▲659	▲6,313	▲1,525	▲660	3,250	
施設整備等による収支差額（4）		▲1,222	▲1,258	▲1,159	▲1,268	▲1,901	0	441	
その他の活動による収支差額（5）		180	132	58	5,069	▲2	▲660	▲4,	
当期資金収支差額合計（6）=（3）+（4）+（5）		889	350	▲1,760	▲2,512	▲3,428	▲1,663	3,687	
前期末支払資金残高（7）		16,649	16,299	18,059	20,571	23,999	25,662	21,975	
当期末支払資金残高（8）=（6）+（7）		17,538	16,649	16,299	18,059	20,571	23,999	25,662	

・次に（２）（事業経営部門）である介護保険事業拠点区分収支決算の推移は・・・

下記は、平成２４年度から平成２９年度決算までの年度別「介護保険事業拠点区分」計算収支の概要を抜粋したものです。

歳入原資は、経常経費補助収益として市町村合併前から、訪問介護さんぽく事業所に市から毎年 3,000 千円の継続補助があります。他は介護保険事業収益（いわゆる介護報酬です）が主たる歳入原資です。下表のように、平成２４年度～平成２６年度の介護保険収益の水準が年間 658,000 千円～667,000 千円台をキープしていましたが、平成２７年度以降は年間 630,000 千円台に落ち込み、27,000 千円～35,000 千円の減収となって来ました。

平成 29 年度決算では、当期資金収支差額合計が▲33,840,497 円となりました。

下記の様に介護保険事業全ての①②③④事業において単年度当期資金収支差額が赤字となりました。

・・・・・・詳細については、平成 29 年度決算書 139 頁以降参照

- ① 居宅介護支援事業で当期資金収支差額合計▲5,269 千円の赤字・・・・・・平成 29 年度決算書 140 頁参照
むらかみ▲1,501 千円の赤字・・・142 頁、 あらかわ▲4,280 千円の赤字・・・144 頁、 かみはやし 1,692 千円黒字・・・146 頁、
あさひ 3,150 千円黒字・・・・・・148 頁、 さんぽく▲4,331 千円の赤字・・・150 頁
- ② ヘルパーステーション事業で当期資金収支差額合計▲959 千円の赤字・・・・・・平成 29 年度決算書・・・・・・152 頁参照
むらかみ▲832 千円の赤字・・・154 頁、 あらかわ 1,546 千円の黒字(障害も含む)・・・・・・156 頁、164 頁
かみはやし 712 千円黒字・・・158 頁、 あさひ▲732 千円赤字・・・・・・160 頁、 さんぽく▲1,626 千円の赤字・・・・・・162 頁
- ③ 訪問入浴事業で当期資金収支差額合計▲1,143 千円の赤字・・・・・・平成 29 年度決算書・・・・・・168 頁参照
- ④ デイサービスセンター事業で当期資金収支差額合計▲26,469 千円の赤字・・・・・・平成 29 年度決算書・・・・・・171 頁参照
・ 瀬波すみれ荘▲8,777 千円の赤字（うち車両購入に伴うもの▲3,086 千円を含む）・・・・・・173 頁、
・ 山辺里さくら荘▲2,011 千円の赤字・・・・・・175 頁 ・ きわなみ・新きわなみ荘▲5,536 千円赤字・・・・・・177 頁
・ さわらびセンター947 千円の黒字（うち車両購入に伴うもの▲2,896 千円を含む）・・・・・・179 頁参照
・ デイサービス長津▲9,770 千円赤字・・・・・・181 頁、 ゆり花荘▲1,323 千円の赤字・・・・・・183 頁

介護保険事業拠点区分収支決算の推移

単位：千円

年度・区分		29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
事業活動収入	寄附金収益	14	6	25	10		530
	経常経費補助収益	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	受託金収益	6,149	6,133	5,534	5,336	4,165	3,677
	介護保険事業収益	631,016	634,925	639,988	667,209	658,116	664,368
	障害者福祉サービス等事業収益	13,003	13,858	15,598	16,347	15,348	10,607
	その他の事業収益	146	255	246	333	270	584
	その他の収益	487	847	584	207	559	409
	事業活動収入計（1）	653,815	659,024	664,975	692,442	681,458	683,175
事業活動支出	人件費	561,987	551,557	533,242	539,615	529,134	533,192
	事業・事務費等	118,682	116,014	116,723	123,950	128,086	125,817
	事業活動支出計（2）	680,669	667,570	649,965	663,565	657,220	659,009
事業活動資金収支差額（3）=（1）－（2）		▲26,853	▲8,546	15,010	28,877	24,238	24,166
施設整備等収支差額（4）		▲6,806	▲9,499	▲1,485	▲1,588	▲2,788	▲970
その他活動資金収支差額（5）		▲181	▲134	▲60	▲5,121	0	0
当期資金収支差額合計（6）=（3）+（4）+（5）		▲33,840	▲18,179	13,465	22,168	21,450	23,196
前期末支払資金残高（7）		241,682	259,861	246,396	224,228	202,778	179,582
当期末支払資金残高（8）=（6）+（7）		207,842	241,682	259,861	246,396	224,228	202,778

◎ 最後に指定管理施設経営部門である（3）福祉センターゆり花会館サービス区分について

平成21年度以降、（24・25年度は赤字となったものの）当期資金収支は単年度収支黒字で推移してきました。

平成27年度6月からマイクロバスリースを行い市業務委託事業の、湯ったり塾事業利用者の送迎を行い、併せて社協事業にも活用している。

27年度から指定管理料が20,545千円と増加したのは、マイクロバスリース費用に見合う経費を市指定管理料に上乗せとなったものである。

車種はトヨタコースター2151で7年リース。有形リース資産扱いで、業務委託料及び減価償却費とも、湯ったり塾事業と案分計上しているマイクロリース料は27年度、28年度施設整備費支出に計上、年間30～37万円

ところで、平成28年度は再び収支決算で▲1,655千円の赤字となりました。これは、人件費（準職員1名を2月から採用し現任正職員と事務

引継ぎさせたことによる 986 千円の増)、備品費 (鍵付き下足箱購入 453 千円の増) が影響したものです。

平成 29 年度は正規職員をデイサービスに異動し、会館は準職員対応 (契約職員) としたことにより人件費の抑制効果が表れ、決算では当期資金収支差額 1,217 千円の黒字となりました。

・福祉センターゆり花会館サービス区分の決算推移 単位：千円

年度・区分		29 年度	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度
事業収入	利用料	14,574	15,093	15,487	14,434	14,394	14,477	14,109	15,274	15,723
	指定管理料	20,545	20,545	20,545	19,252	17,314	13,500	14,900	14,900	14,900
	その他の収益	2,160	1,776	2,003	2,066	2,060	2,462	2,499	2,398	1,997
	収入合計(1)	37,279	37,414	38,035	35,752	33,768	30,439	31,508	32,573	32,620
事業支出	人件費	13,371	17,291	16,305	15,939	14,175	10,356	8,978	6,606	6,027
	事業・事務費等	22,319	20,954	20,063	19,320	20,195	20,181	19,404	22,659	20,819
	支出合計(2)	35,690	38,244	36,368	35,259	34,370	30,537	28,382	29,265	26,846
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		1,589	▲830	1,667	493	▲602	▲98	3,126	3,308	5,774
施設整備収支差額 (4)		▲372	▲825	▲279	▲328	0	0	0	0	▲240
その他活動収支差額 (5)		0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(6)=(3)+(4)+(5)		1,217	▲1,655	1,388	165	▲602	▲98	3,126	3,308	5,534
前期末支払資金残高 (7)		12,474	14,129	12,741	12,576	13,178	13,276	10,150	6,842	1,308
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		13,691	12,474	14,129	12,741	12,576	13,178	13,276	10,150	6,842
年間利用者数の推移 (人)		64,943	66,428	66,850	63,127	63,517	63,570	60,286	6,3039	65,705